

第 5-16 表 相対的貧困率

Table 5-16: Poverty rates based on disposable income

	2000年	2010	2015	2019	2020	2021	2022	2023	
									%
日本 1)	15.3	16.0	15.7	15.7	—	15.4	—	—	JPN
アメリカ 2)	16.9	17.4	16.8	18.0	16.4	15.2	18.1	p 18.1	USA
カナダ	12.0	13.1	14.1	11.5	8.6	10.5	11.9	12.2	CAN
イギリス	11.0	11.0	10.9	12.4	11.2	11.7	11.8	12.6	UK
ドイツ	7.6	8.8	10.1	10.9	11.6	11.8	—	—	DEU
フランス	7.2	7.9	8.1	8.4	7.7	8.5	8.3	—	FRA
イタリア	12.2	13.4	14.4	13.6	13.5	12.8	12.2	—	ITA
オランダ	6.6	7.2	7.7	8.0	8.2	10.0	7.1	p 7.0	NLD
デンマーク	5.1	6.0	5.5	6.5	6.4	6.3	6.3	—	DNK
スウェーデン	5.3	9.1	8.9	9.1	8.8	9.2	8.4	8.0	SWE
フィンランド	5.3	7.2	6.3	6.4	5.7	6.7	6.7	6.8	FIN
ノルウェー	6.3	7.5	8.1	8.4	8.4	7.9	8.0	—	NOR
韓国	—	14.9	17.5	16.3	15.1	14.8	14.9	—	KOR
オーストラリア 3)	12.2	14.4	12.1	12.4	12.6	—	—	—	AUS
ニュージーランド	9.8	13.0	13.0	12.9	12.2	13.0	14.3	—	NZL
メキシコ 3)	21.5	20.4	16.6	15.9	16.6	—	15.0	—	MEX

p) 暫定値。

p) Provisional.

出典：OECD (<https://stats.oecd.org/>) "Income distribution – Poverty" 2025年9月現在

注：相対的貧困率とは、等価可処分所得（世帯の可処分所得を世帯人員の平方根で割って調整した所得）の中央値の一定割合（本表では50％）に満たない世帯員の割合である。2020年は新型コロナウイルスのパンデミックの影響があることに注意が必要。

- 1) 2010年は2009年値、2019年は2018年値。
- 2) 2018年以降は固定資産税および連邦住宅補助を含まない。
- 3) 2015年は2016年値、2019年は2018年値。

参考：日本の相対的貧困率

Reference: Relative poverty rates in Japan

	1991年	2000	2006	2009	2012	2015	2018	2018	2021	
							旧基準←	→新基準		%
全体	13.5	15.3	15.7	16.0	16.1	15.7	15.4	15.7	15.4	All
子ども	12.8	14.4	14.2	15.7	16.3	13.9	13.5	14.0	11.5	Under 17

出典：厚生労働省（2023.7）「2022年国民生活基礎調査」

注：OECDの作成基準に基づき厚生労働省が算出したもの。2015年は熊本県を除く。2018年以降の新基準は、2015年に改定されたOECDの所得定義の新たな基準による。子どもの相対的貧困率は、17歳以下の子ども全体に占める、等価可処分所得の中央値の一定割合（本表では50％）に満たない17歳以下の子どもの割合。